

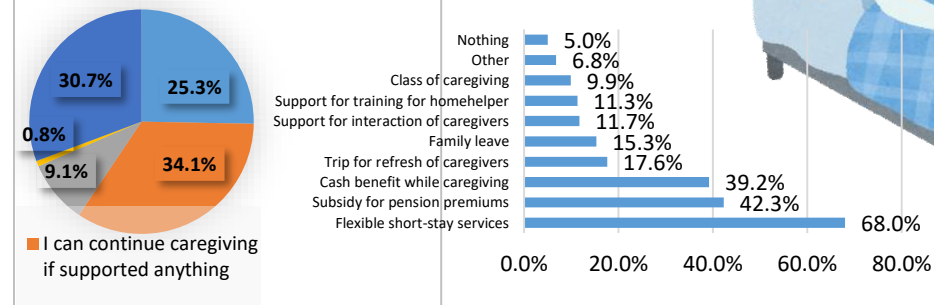
高齢者の希望および財政面から推進される在宅介護の継続要因の抽出、また在宅介護に必須である家族介護に対する具体的な支援策の探索、さらにこれらを通じた質および費用対効果の高い効率的な介護サービスシステムの構築を目指す研究を進めています。

在宅介護継続要因抽出およびその支援

- 在宅介護者が最も望む緊急ショートステイサービスの整備による介護費用抑制の算出

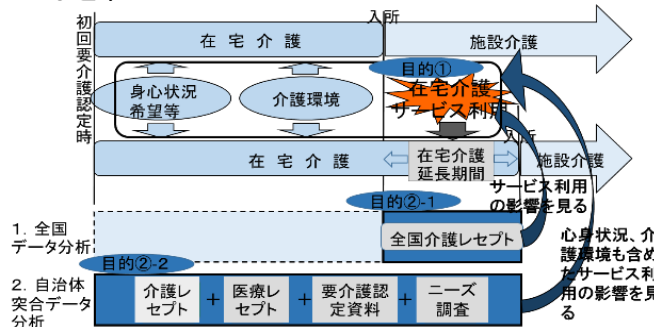
在宅介護者の約23%が、緊急ショートステイを適時利用できれば在宅介護継続可能と回答したことから、A市のこの群における施設と在宅介護のコストを比較し、介護費用抑制分を試算。

〈在宅介護継続意思の分布〉 〈在宅介護継続に必要な支援〉



- 在宅介護期間をより長くする介護サービスはどれか

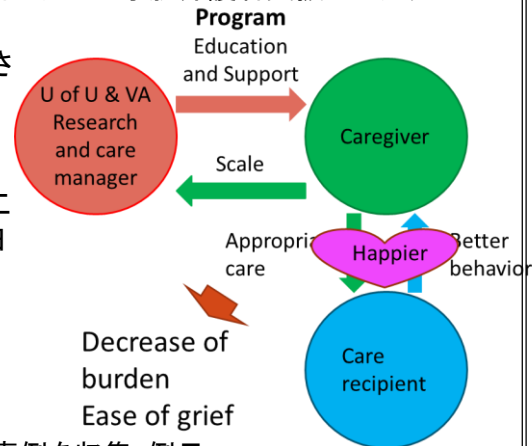
どの介護サービス・およびその組み合わせを利用するかどうかと、在宅介護期間（要介護認定から施設初入所までの期間）との関連を、全国介護レセプトや要介護認定資料等のデータを用いて分析する。さらに施設入所せず在宅介護を継続できたことで抑制される介護費用を試算する。



家族介護者支援の具体的な支援策の探求

- 米国ユタ州における家族介護者支援プログラム

ユタ州で実施された家族介護者支援プログラムについて、詳細に学び、これにならい、日本版の開発に向けた研修を進める。



- 家族介護者支援の先駆的事例を収集・例示

国内外における家族介護者支援のレビュー、および先駆的事例をまとめ、わが国における具体的支援策を議論する。

※ショートステイサービス利用と在宅介護継続期間との関連

1県における介護レセプト分析より、軽介護度群（要介護1-2）ではショートステイサービス利用が在宅介護期間を長くすることと関連し、重介護度（要介護3-5）では短くすることと関連していた。